

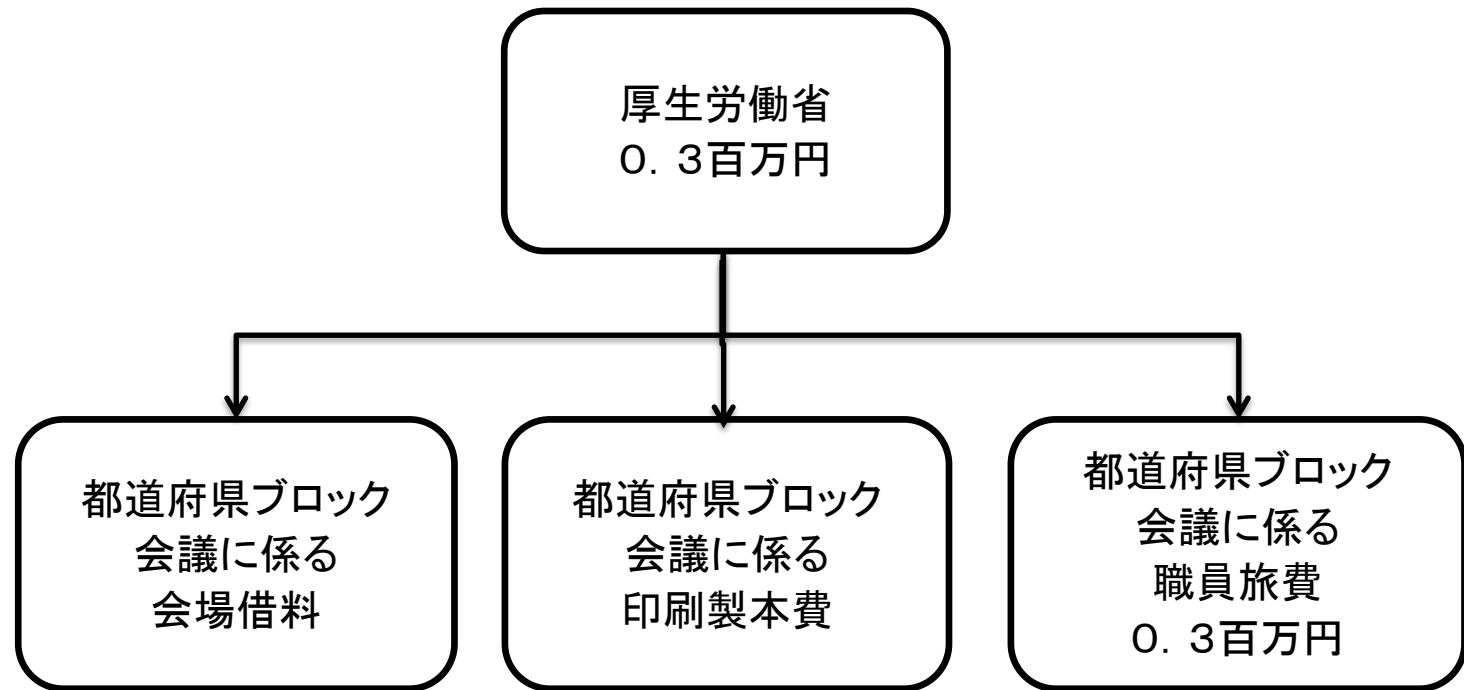
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	後期高齢者医療企画指導費		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	高齢者医療課		横幕章人		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ、安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	後期高齢者医療制度の円滑かつ適正な運営を図るため、後期高齢者医療制度に関わる都道府県及び後期高齢者医療広域連合への指導等を行う都道府県ブロック会議を開催する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○都道府県ブロック会議を全国6ブロック(宮城、愛知、大阪、広島、福岡、東京)で開催。 ○各都道府県の後期高齢者医療主幹課(部)、後期高齢者医療広域連合等より出席を得て、各地の厚生局会議室、都道府県庁舎会議室等にて開催。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	2.2	3.2	2.2	0.4	0.3	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	2.2	3.2	2.2	0.4	0.3		
	執行額	0.3	0	0.3				
執行率(%)	14	0	15					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	会議開催に係る事務費であり、定量的な指標は困難。			地区	4月:6 9月:6	0	0	-
			達成度	%	100	0	0	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	都道府県ブロック会議の開催回数			開催回数	12	0 (12)	0 (12)	- ( - )
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠	会議1回の開催に要した費用 (執行額/会議開催回数) なお、会議開催にあたっては職員旅費、委員等旅費の実支出。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.4	0.3	事業実績に基づき縮減。				
	会場借料	0	0					
	印刷製本費	0	0					
計	0.4	0.3						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	円滑な制度運営のために必要であり、国民のニーズにも合致する。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	円滑な制度運営の確保は国の責務であり、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	円滑な制度運営の確保は国民からのニーズもあり、優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—	—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	制度の見直しを検討中であったため、会議を開催しなかった。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>後期高齢者医療制度は平成20年度から創設されたものであり、初年度は制度運営方法について、平成21、22年度は財政運営上の特例及び新たな高齢者医療制度の検討状況等について会議を開催してきたが、平成23年度は震災への対応を最優先し、また24年度は社会保障・税一体改革の中で今後の高齢者医療制度について引き続き協議するとされたことから、個別の会議を開催していない。</p> <p>平成25年度以降は社会保障制度改革国民会議の結果等を踏まえ、適切に対応する。</p>					
外部有識者の所見						
<p>執行率を勘案し予算額への反映が必要。(長崎、井出)</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>本事業の必要性の観点からの評価は概ね妥当であるが、執行率が低調なことから予算額縮減に努めるべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>執行率を勘案し平成25年度予算を縮減しているが、26年度要求についても、さらに予算額を縮減(▲0.1百万円)</p>					
備考						
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>						
	平成22年	267	平成23年	238	平成24年	204

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					